給電HUB

取扱説明書

このたびは、ネットコミュニティシステムαNX 給電HUBをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

●本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、バックアップをとるなどして保管くださるようお願いします。
●本商品は、お客様固有のデータ登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを消去する必要があります。詳しくは当社のサービス取扱所にご相談ください。
●本書とともに必ず、ネットコミュニティシステム主装置の取扱説明書をよくお読みになり、理解したうえでお使いください。
●本書とともに必ず、ご使用のパソコンの取扱説明書をよくお読みになり、理解したうえでお使いください。
●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
●本商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。

⚠警告

●本商品を次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品のACケーブルを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●本商品に水をかけたり、ぬれた手での操作やACケーブルの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品のACケーブルを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。（分解、改造された本商品は修理に応じられない場合があります）。

●本商品のそばに水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

●電源は、AC100V商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●本商品のACケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると本商品のACケーブルが破損し、火災・感電の原因となることがあります。ACケーブルが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告

- テーブルタップや分岐電源コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のACケーブルが痛んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災･感電の原因となることがあります。すぐに本商品のACケーブルを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 万一、本商品内部に水などの液体が入った場合は、すぐに本商品のACケーブルを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに本商品のACケーブルを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災･感電の原因となることがあります。すぐに本商品のACケーブルを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。
- ACケーブルはほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、ACケーブルを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- ACケーブルは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。
- ACケーブルを電源コンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ACケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、本商品のACケーブルを電源コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や本商品のACケーブルを熱器具に近づけないでください。キャビネットや本商品のACケーブルの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品をお手入れするときは、ACケーブルを電源コンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。

●本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、本商品の内部に熱がこもり。火災・故障の原因となることがあります。
次のような設置のしかたはしないでください。

- 本商品を仰向けや横倒し、逆さまにする。
- 本商品を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
- 本商品をじゅうたんや布団の上に置く。
- 本商品にテーブルクロスなどをかける。
- 本商品の周りに物をおいて、通風孔をふさがない。

お使いになる前に（設置環境）

●本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- 振動、衝撃の多い場所。
- 2段に積み重ねて設置しない。

●本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

●壁掛けする場合は必ず付属の壁掛けブラケットと壁掛け用ネジをお使いになり取り付けは専門の作業者にお任せください。落下により、故障の原因となることがあります。

お使いのとき

●本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

●本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品のACケーブルを電源コンセントから抜いてください。

●本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

取り扱いについて

⚠注意

- ●本商品をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- ●本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- ●ACケーブルを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- ●コネクタに異物を差し込んだり、端子面に触れないでください。故障の原因となることがあります。

置き場所について

こんな場合は、電話がつながらなかったり、雑音が入ることがあります。

- ●本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

目　次

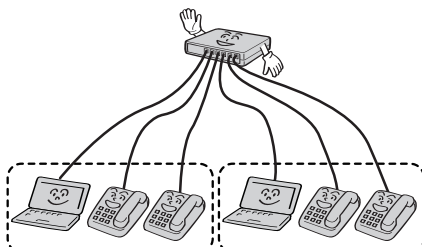
特　長

オートネゴシエーション機能をサポート
サポートしている通信速度および通信モードでもっとも高速なモードが自動選択されます。

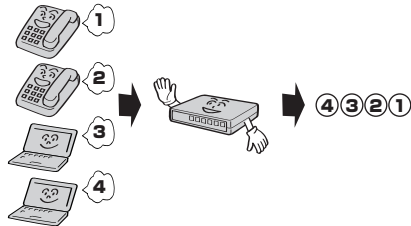
オートクロスオーバー機能をサポート
接続されたケーブルの種類に応じて、自動的にHUB のポート内部の接続を切り替えられます。

給電機能
IP 電話機などへ電力を供給できますので、端末側で AC アダプタが不要となり配線が簡素化されます。なお、WEB 設定により、各ポートの給電開始と停止を制御できます。

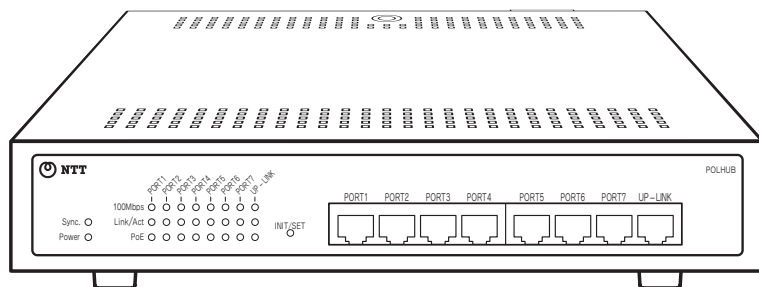
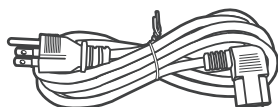
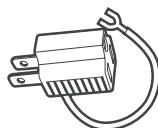
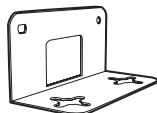
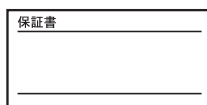
ポートベース VLAN
ポート単位でグループ化して VLAN を構築できます。

見やすいランプ表示
各ポートの通信状態や給電状態がランプで表示されます。

タグベース LAN
タグの VLAN ID 単位でグループ化して VLAN を構築できます。

ファンレス静音設計
ファンを使用せず自然冷却させますので、騒音が気になりません。

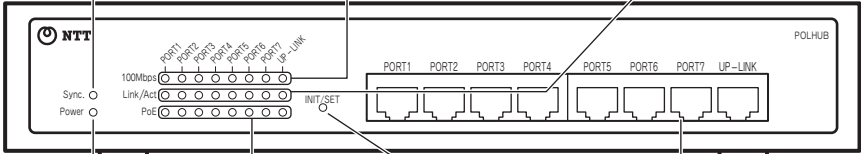
優先制御
ポートベース、CoS ベース、ToS ベースの優先制御を 4 段階で設定できます。

モニタ機能
WEB 設定により、ポート 7 をモニタポートとして使用することができます。

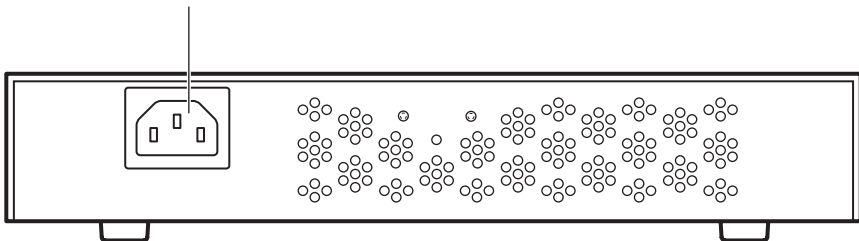
セットを確認してください

■ 本体（1 台）

■ 付属品

取扱説明書（一部）　AC ケーブル　電源用変換プラグ　相談センタシール

壁掛けブラケット（二個）　壁掛け用ネジ (各四個)　保証書

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

各部の名前

■ 前面

Syncランプ
工事者確認用ランプです。
100Mbpsランプ
100BASE-TXで運用
しているときに点灯します。
Link/Actランプ
LINKが確立されると
点灯します。
NTT
POLHUB
PORT1
PORT2
PORT3
PORT4
PORT5
PORT6
PORT7
UP-LINK
100Mbps
Link/Act
PoE
Sync.
Power
INIT/SET
PoEランプ
給電しているポートが
点灯します。
INIT/SETスイッチ
初めてWEB設定をする
ときに使用します。
Powerランプ
電源を入れると点灯します。
HUBポート
LANケーブルまたは
UTPケーブルを接続します。

■ 背面

ACケーブル接続ポート
付属のACケーブルを接続します。

■ ランプの表記について

ランプの種類	ランプのつきかた	状　　態
Syncランプ	点灯	工事者用ランプ
	消灯	工事者用ランプ
Powerランプ	緑点灯	電源が入っている状態です。
	消灯	電源が入っていない状態です。
PoEランプ	緑点灯	給電している状態です。
	消灯	給電していない状態です。
100Mbpsランプ	緑点灯	100BASE-TXで運用している状態です。
	消灯	10BASE-Tで運用している状態です。
Link/Actランプ	点灯	LINKが確立された状態です。
	点滅	データが送受信されている状態です。

■ スイッチ

【INIT/SET】初期化・初期設定兼用スイッチです。
初めてWEB設定をするときは、スイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが8個同時点滅するまで（約5秒）押し続けてください。

お知らせ

本商品はWEB設定なしでも給電機能が使用できるように、出荷時は“給電ON”になっています。初期値のままでPoE非対応機器を接続しても、本商品側で対応機器か否かを判定し給電を切ります。よって、通常では壊れることはありませんが、念のため、PoE非対応機器を接続する場合は“給電OFF”に設定することを推奨します。
また、IP設定は“IPなし”になっています。設定を行う場合は、INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが8個同時点滅するまで（約5秒）押し続けてください。
上記操作により、本商品は“固定IP”（10．0．0．1）になります。
なお、初回設定時は必ずIP設定を行ってください。IP設定を行わない場合、次回起動時は“IPなし”に戻ります。
ランプが見づらい場合は、本商品の正面からご確認ください。

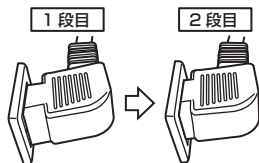
接続手順

接続する

1 本商品のUPLINKポートに主装置と接続するLANを配線します。

2 IP電話機、またはネットワークに接続する他の端末を接続します。

3 ACケーブルを本体に差し込み、その後、コンセントに差し込みます。

ACケーブルを本体に差し込む際、1段目で挿入した感覚がありますが、2段目まできっちりと挿入してください。

4 本体のPowerランプが点灯することを確認します。

端末が各ポートに正常接続されている場合は、Link/Actランプが点灯または点滅します。また、IP電話機を接続したポートのPoEランプが点灯します。

ワンポイント

●起動と停止

本商品は電源プラグをACコンセントに差し込むと起動し、電源プラグをはずすと停止します。

お知らせ

●本商品はオートクロスオーバーコネクト対応のため、カスケード接続する場合もストレートケーブルで接続できます。また、スイッチングHUBどうしのカスケード接続は、カスケードできる数に論理上の制限はありませんが、ネットワークに接続しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。

お願い

●すべてのケーブルは機器間を接続するために適切な長さであることを確認します。
本商品と端末を接続するケーブルの長さは100m以内にしてください。また、ケーブルは100BASE-TXの場合はカテゴリ5以上を使用してください。

●電源は接地端子のついた3極のコンセントをご利用いただくか、添付の変換プラグを用いて接地極を確実に接地してください。なお、接地はD種接地以上の規格のものをご利用ください。

操作の流れ

本商品の接続から運用までの操作を以下に示します。

パソコンの設定を行う

パソコンから本商品の設定をしたり、インターネットにアクセスするためには、パソコン側でネットワークの設定を行なう必要があります。

パソコンを起動する

LANカード/ボードの増設をする

TCP/IPのインストールを行う

TCP/IPの設定を行う

接続する

パソコンと接続する

パソコンと本商品の何れかのポートを、10BASE-Tケーブルまたは100BASE-TXケーブルにより接続します。

IPアドレスを割当てる

お買い求め時の本商品は「IPなし」に設定されています。以下の操作によりIPアドレスを割当ててください。

INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入する

PoEランプが8個同時に点滅するまで（約5秒）待ってからINIT/SETスイッチを放す

データ設定を行う

本商品の各種データ設定は、ブラウザソフトにより行います。

ブラウザを起動する

本商品と同一ネットワークに接続されたパソコンのブラウザソフトを起動します。

※ブラウザのJavaScriptの設定は必ず「有効」にしてご使用ください。

本商品にログインする

ブラウザソフトにより本商品へアクセスします。ブラウザの「アドレス」に本商品のIPアドレスを入力し、[Enter] キーを押します。
認証画面が表示されますので、パスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

※INIT/SETスイッチでIPアドレスを割当てた場合、アクセスURLは10.0.0.1となります。

※お買い求め時は、ユーザー名「hosyu」、パスワードなしに設定されています。

各種設定を行う

設定メニューが画面左側に表示されます。
設定したい項目のメニューをクリックすると、設定画面が表示されます。

※各設定項目において、データの登録／変更／削除を行った場合は、必ず [設定] ボタンを押してください。

※初回設定時は必ずIP設定を行ってください。IP設定を行わない場合、IP設定は「IPなし」に戻ります。

再起動する

データの変更を行った場合は、必ず、再起動を行ってください。

運用する

運用を開始します。

パソコンの設定

パソコンから本商品に接続するための設定を行います。パソコン側で以下の準備が必要です。

対応OS	本商品の設定を行う場合には、次のオペレーションシステムを推奨します。 Windows XP(SP2) Windows Vista Ultimate(32bit) Windows Vista Home Premium(32bit) Windows Vista Home Basic(32bit) Windows Vista Business(32bit)
LANカード/ボード	本商品を利用する場合にパソコンに装着されていることが必要です。お使いのパソコンに適するLANカード/ボードをご用意ください。
WWWブラウザ	本商品の設定を行う場合には、次のWWWブラウザを推奨します。 Windows Vista：Internet Explorer　7.0 Windows XP(SP2)：Internet Explorer 6.0(SP2)
10BASE-T/ 100BASE-TXケーブル	本商品とパソコンを接続するときに必要です。カテゴリ5以上のケーブルを使用してください。

Windows Vista の場合

本商品の設定を行う前に、必要に応じてお使いのパソコンで次のような操作を行ってください。

1 パソコンを起動する

パソコンの電源を入れ、起動します。
デスクトップ画面の表示になります。

2 LANカード/ボードの設定を行う

すでにLANカード/ボードを使用している場合は、「3 TCP/IPのインストール」へ進んでください。

1 [スタート] ボタンをクリックして、[コントロールパネル] をクリックします。

[コントロールパネル] が表示されます。

ワンポイント

Windows Vista の操作について

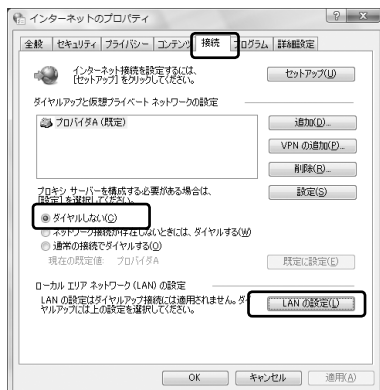
操作手順は標準設定のカテゴリを表示するコントロールパネルで説明しています。コントロールパネルをクラシック表示にしてある場合は操作が異なります。

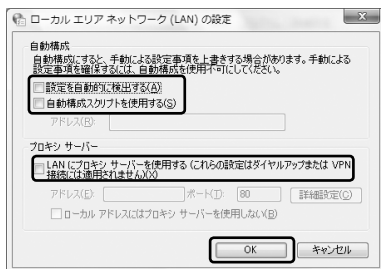
お知らせ

● お使いのLANカード/ボードの取扱説明書を参照し、指示に従って選択してください。

2 [ネットワークとインターネット] をクリックします。

3 [インターネットオプション] をクリックします。

4 [接続] タブで [ダイヤルしない] を選択し、「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」の [LANの設定] をクリックします。

5 「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」を設定します。

次のように設定します。

3 TCP/IPのインストールを行う

パソコンの電源を入れ、起動します。
デスクトップ画面の表示になります。

1 ［スタート］ボタンをクリックして、［コントロールパネル］をクリックします。

［コントロールパネル］が表示されます。

2 コントロールパネルの［ネットワークとインターネット］をクリックします。

［ネットワークとインターネット］が表示されます。

3 ［ネットワークと共有センター］をクリックします。

［ネットワークと共有センター］が表示されます。

4 ［ネットワーク接続の管理］をクリックします。

［ネットワーク接続の管理］が表示されます。

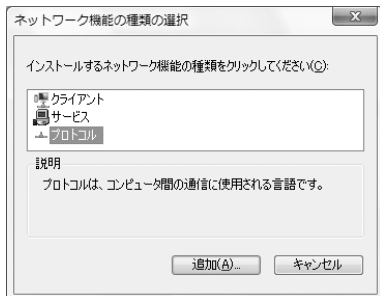
5 ［ローカルエリア接続の状態］を右クリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。

「ローカルエリア接続の状態のプロパティ」画面が表示されます。

6 ［インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4)］があるか確認します。

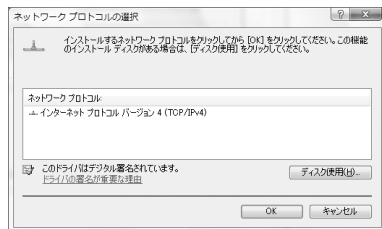
ある場合は「4 TCP／IPの設定を行う」（☛P16）へ進んでください。

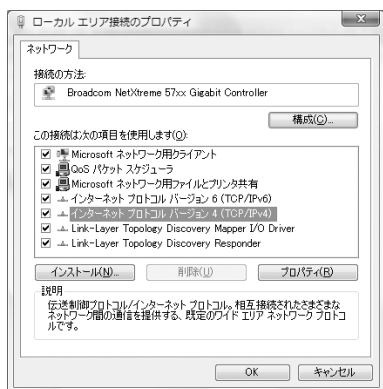
7 「インストール」ボタンをクリックします。

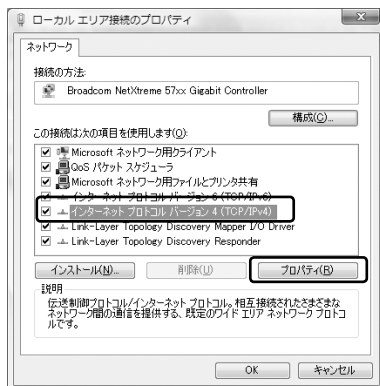
「ネットワークコンポーネントの種類の選択」画面が表示されます。

（次ページへつづく）

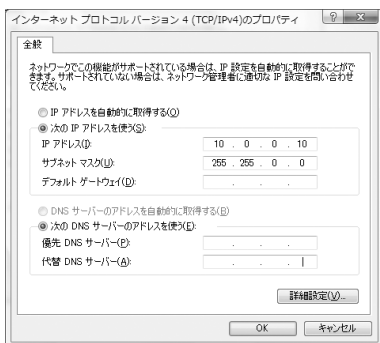
パソコンの設定

8 ［プロトコル］を選択し、「追加」ボタンをクリックします。

「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されます。

9 ［インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4)］を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

TCP／IPプロトコルがインストールされます。

4 TCP／IPの設定を行う

1 ［インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4)］を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

2 ［次のIPアドレスを使う］を選択して、IPアドレスの欄に「10.0.XXX.XXX」、サブネットマスクに「255.255.0.0」と入力します。

※XXXの箇所には0.2 ～ 255.254の任意の数字を入力してください。

3 「OK」ボタンをクリックします。

Windows XP の場合

本商品の設定を行う前に、必要に応じてお使いのパソコンで次のような操作を行ってください。

1 パソコンを起動する

パソコンの電源を入れ、起動します。
デスクトップ画面の表示になります。

2 LANカード／ボードの設定を行う

すでにLANカード／ボードを使用している場合は、「3 TCP/IPのインストール」へ進んでください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして、［コントロールパネル］をクリックします。

［コントロールパネル］が表示されます。

ワンポイント

Windows XPの操作について

操作手順は標準設定のカテゴリを表示するコントロールパネルで説明しています。コントロールパネルをクラシック表示にしてある場合は操作が異なります。

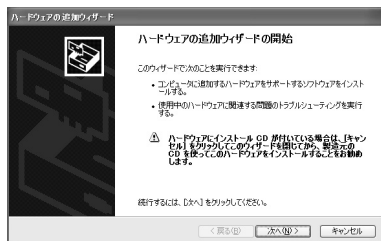
お知らせ

- お使いのLANカード／ボードの取扱説明書を参照し、指示に従って選択してください。

2 ［プリンタとその他のハードウェア］アイコンをクリックします。

［プリンタとその他のハードウェア］が表示されます。

3 関連項目の［ハードウェアの追加］をクリックします。

「ハードウェアの追加ウィザードの開始」画面が表示されます。

4 画面に表示される指示に従って、LANアダプタ／カードの設定をします。

3 TCP/IPのインストールを行う

パソコンの電源を入れ、起動します。
デスクトップ画面の表示になります。

1 ［スタート］ボタンをクリックして、［コントロールパネル］をクリックします。

［コントロールパネル］が表示されます。

2 コントロールパネルの［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

［ネットワークとインターネット接続］が表示されます。

（次ページへつづく）

パソコンの設定

3 ［ネットワーク接続］アイコンをクリックします。

［ネットワーク接続］が表示されます。

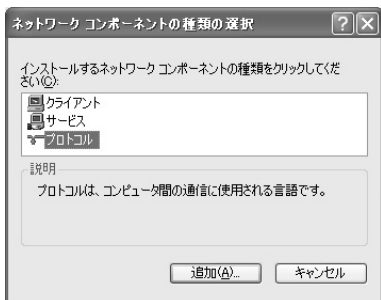
4 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。

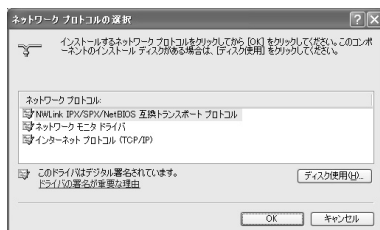
「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。

5 ［インターネットプロトコル（TCP／IP）］があるか確認します。

ある場合は「4 TCP／IPの設定を行う」（☛P19）へ進んでください。

6 「インストール」ボタンをクリックします。

「ネットワークコンポーネントの種類の選択」画面が表示されます。

7 ［プロトコル］を選択し、「追加」ボタンをクリックします。

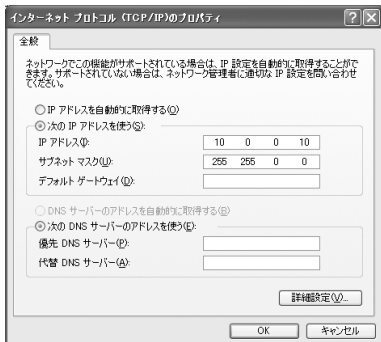
「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されます。

8 ［インターネットプロトコル（TCP／IP）］を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

TCP／IPプロトコルがインストールされます。

4 TCP／IPの設定を行う

1 ［インターネットプロトコル(TCP／IP)］を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

2 ［次のIPアドレスを使う］を選択して、IPアドレスの欄に「10.0.XXX.XXX」、サブネットマスクに「255.255.0.0」と入力します。

※XXXの箇所には0.2～255.254の任意の数字を入力してください。

3 「OK」ボタンをクリックします。

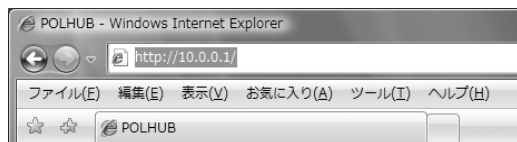
本商品にログインするには

本商品の各種データ設定をするには本商品にログインする必要があります。
画面に従ってログインしてください。

名称	説明	設定範囲	初期値
ユーザー名	本商品にログインするためのユーザー名を入力する。 大文字小文字も区別される。	最大10文字 (半角文字) (A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9)	hosyu
パスワード	本商品にログインするためのパスワードを入力する。 大文字小文字も区別される。		―

1 パソコンのブラウザを起動します。

2 ブラウザソフトの「アドレス」に本商品のIPアドレス「10.0.0.1」を入力し、[Enter] キーを押します。

POLHUB - Windows Internet Explorer
http://10.0.0.1/
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
POLHUB

お知らせ

●お買い求め時は、「IPなし」となっています。INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが8個同時点滅するまで（約5秒）押し続けると、暫定的に「10.0.0.1」になります。

3 認証画面が表示されたら、ユーザー名およびパスワードを入力します。

お知らせ

●お買い求め時は、ユーザー名「hosyu」、パスワードなしに設定されています。

4 「OK」ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックし、本商品にログインしてください。TOPページが表示されます。

●ユーザー名またはパスワードを設定・変更するには（☛P36）

データ設定画面

全ての画面で共通する注意事項

- ●初めて設定する場合は必ずIP設定を行ってください。　IP設定を行なわない場合、IP設定は“IPなし”に戻ります。
- ●各設定項目において、データの登録／変更／削除を行った場合は、必ず[設定」ボタンをクリックしてください。「設定」ボタンをクリックせずに再起動や電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。
- ●設定したデータは全て再起動後から有効となります。
- ●ブラウザソフトのJavaScriptの設定は、必ず「有効」にしてご使用ください。
- ●画面が正しく表示されない場合は、ブラウザの更新ボタンを押してください。

TOP ページ

本商品にログインした直後に表示される画面です。
画面左側のメニューをクリックすることで、各種設定画面（☛P24～36）に切り替わります。

POLHUB　データ設定

TOPページ
IP設定
ポート設定
給電設定
同期設定
モニタ設定
ポートVLAN設定
タグVLAN設定
優先制御設定
その他

再起動

・初めて設定する場合は必ずIP設定を行なって下さい。
IP設定を行なわない場合、IP設定は「IPなし」に戻り、以降アクセス出来なくなります。
・各設定項目において、データの登録／変更／削除を行った場合は、必ず「設定」ボタンをクリックして下さい。
「設定」ボタンをクリックせずに再起動や電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。
・設定したデータは全て再起動後から有効となります。
・ブラウザソフトのJavaScriptの設定は、必ず「有効」にしてご使用下さい。

Soft Version	1 . 0 . 0 . 0
Hard Version	1 . 0
MAC Address	[illegible] : [illegible] : [illegible] : [illegible] : [illegible] : [illegible]
IP Address	10 . 0 . 0 . 1

状態表示

	Link	速度	Duplex	MDI/MDIX	給電
ポート1	○	100M	FULL	MDI	○
ポート2	○	10M	HALF	MDI	×
ポート3	○	100M	FULL	MDIX	○
ポート4	×				×
ポート5	○	100M	FULL	MDI	○
ポート6	×				×
ポート7	×				×
UPLINK	○	100M	FULL	MDIX	×

更新

■ 基本情報

Soft Version	ソフトウェアバージョンを表示します。
Hard Version	ハードウェアバージョンを表示します。
MAC Address	MACアドレスを表示します。
IP Address	IPアドレスを表示します。

■ 状態表示

Link	○：リンク確立状態です。 ×：リンク未確立状態です。
速度	100M：100Mbpsで接続中です。 10M：10Mbpsで接続中です。
Duplex	FULL：全二重で接続中です。 HALF：半二重で接続中です。
MDI/MDIX	MDI：MDIで接続中です。 MDIX：MDIXで接続中です。
給電	○：給電状態です。 ×：非給電状態です。

※本商品の温度が上がると自動で給電を停止し、給電欄一番下に高温断と表示されます。通風孔を塞いでいないか確認し、電源を再投入してください。

■ 再起動

再起動	ボタンを押すと再起動します。 設定を変更した場合は必ず再起動してください。

※再起動ボタンは次ページ以降に記載するどの画面からでも実行可能ですので、以降の説明は省略します。

※再起動した後に、自動的に画面が更新されない場合は、ブラウザの更新ボタンを押してください。

データ設定画面

IP設定

■ 設定値

IP設定	固定IP：手動でIPアドレスを設定します。 IPなし：本商品にアクセスできません。（初期値）
IPアドレス	IPアドレスを指定します。
サブネットマスク	サブネットマスクを指定します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを指定します。

※IPアドレスを変更して再起動した場合、自動接続できませんので、設定したIPアドレスで接続しなおしてください。

ポート設定

TOPページ
IP設定
ポート設定
給電設定
同期設定
モニタ設定
ポートVLAN設定
タグVLAN設定
優先制御設定
その他

再起動

ポート設定

ポートのPHY設定を行ないます。

	Auto -Nego	速度	Duplex	MDI/ MDIX
ポート1	有効	100M	FULL	AUTO
ポート2	無効	10M	HALF	MDI
ポート3	有効	100M	FULL	AUTO
ポート4	有効	100M	FULL	AUTO
ポート5	有効	100M	FULL	AUTO
ポート6	有効	100M	FULL	AUTO
ポート7	無効	100M	FULL	MDI
UPLINK	有効	100M	FULL	MDIX

設定 元に戻す

■ 設定値

Auto-Nego	有効：オートネゴシエーション有効（初期値） 無効：オートネゴシエーション無効
速度	Auto-Negoを無効に設定した場合に設定します。 100M：100Mbps 10M：10Mbps
Duplex	Auto-Negoを無効に設定した場合に設定します。 FULL：全二重 HALF：半二重
MDI/MDIX	MDI：MDI MDIX：MDIX AUTO：オートクロスオーバー（初期値）

※速度を100M固定にすると、オートクロスオーバーは選択できません。

データ設定画面

給電設定

給電設定

ポートの給電設定を行ないます。

TOPページ
IP設定
ポート設定
給電設定
同期設定
モニタ設定
ポートVLAN設定
タグVLAN設定
優先制御設定
その他

再起動

給電設定

ポート1	◉ON	○OFF
ポート2	○ON	◉OFF
ポート3	◉ON	○OFF
ポート4	◉ON	○OFF
ポート5	◉ON	○OFF
ポート6	◉ON	○OFF
ポート7	◉ON	○OFF
UPLINK	○ON	◉OFF

現在消費している電力の合計： 8 W

設定 元に戻す

■ 設定値

給電設定	ON：給電開始（初期値） OFF：給電停止
消費電力合計	現在消費している電力の合計値を表示します。

※最大給電電力は70Wで、それを超えた場合優先順位の低いポートから切断されます。
［優先順位］ポート1＞2＞3＞4＞5＞6＞7>UP-LINK
なお、チャタリング防止のため、約67～70Wの間は新規接続ポートへ給電しないようにガードしています。

同期設定

TOPページ
IP設定
ポート設定
給電設定
同期設定
モニタ設定
ポートVLAN設定
タグVLAN設定
優先制御設定
その他

再起動

同期設定

同期ユニットの設定を行ないます。

クロック入力設定

◉UPLINK　○内部クロック

クロック出力設定

ポート1	○ON	◉OFF
ポート2	○ON	◉OFF
ポート3	○ON	◉OFF
ポート4	◉ON	○OFF

設定　元に戻す

■ 設定値

クロック入力設定	UPLINK：UPLINKポートから入力したクロックを出力します。（初期値） 内部クロック：本商品のクロックを出力します。
クロック出力設定	ON：クロック出力開始 OFF：クロック出力停止（初期値）

※本設定を変更する場合は専門の作業者へお任せください。

データ設定画面

モニタ設定

TOPページ
IP設定
ポート設定
給電設定
同期設定
モニタ設定
ポートVLAN設定
タグVLAN設定
優先制御設定
その他

再起動

モニタ設定

モニタポート(ポート7)の設定を行ないます。

モニタ設定 有効

ポート1 ☑ 送受信
ポート2 ☐ 送信
ポート3 ☐ 送信
ポート4 ☐ 送信
ポート5 ☐ 送信
ポート6 ☐ 送信
UPLINK ☑ 送信

設定 元に戻す

■ 設定値

モニタ設定	無効：ポート７をモニタポートとして使用しません。（初期値） 有効：ポート７をモニタポートとして使用します。
チェックボックス	モニタ元のポートをチェックしてください。
送信／送受信	送信：送信パケットをモニタします。 送受信：送信受信双方向のパケットをモニタします。

※モニタするポート数を増やしたり、送受信双方向に設定することは可能ですが、パケットが溢れた場合の保障はできません。

※VLANを組んだポートをモニタする場合、被モニタポートと一緒にポート7もVLANメンバへ追加してください。

ポートVLAN設定

■ 設定値

ポートVLAN	無効：ポートVLANを使用しません。（初期値） 有効：ポートVLANを使用します。
チェックボックス	VLANを形成したいポートを同じ列にチェックしてください。

※最大8グループまで設定可能です。

データ設定画面

タグVLAN設定

TOPページ
IP設定
ポート設定
給電設定
同期設定
モニタ設定
ポートVLAN設定
タグVLAN設定
優先制御設定
その他

再起動

タグVLAN設定

タグVLANの設定を行ないます。

・タグ挿入・削除の設定は出力ポート毎、挿入タグのCoS値下位1bitは入力ポート毎の設定となります。
・挿入タグのVLANIDは入力ポートのデフォルトVLANIDが割り付きます。
・挿入タグのCoS値上位2bitは、優先制御設定で設定した4段階の優先度が割り当てられます。
・タグVLANを使用する場合は、ポートVLANを無効にしてください。

タグVLAN 有効

	ポート1	ポート2	ポート3	ポート4	ポート5	ポート6	ポート7	UPLINK
タグ挿入削除設定	削除	削除	削除	削除	削除	削除	なし	挿入
デフォルトVLANID	1	1	1	4094	4094	4094	0	0
挿入タグのCoS値下位1bit	0	0	0	1	1	1	1	1

	VLAN ID	ポート1	ポート2	ポート3	ポート4	ポート5	ポート6	ポート7	UPLINK
VLAN ①	1	☑	☑	☑	☐	☐	☐	☐	☑
VLAN ②	2	☐	☐	☐	☑	☑	☑	☐	☑
VLAN ③	3	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
VLAN ④	4	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
VLAN ⑤	5	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
VLAN ⑥	6	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
VLAN ⑦	7	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
VLAN ⑧	8	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

設定　元に戻す

■ 設定値

<table>
<tr><td>タグVLAN</td><td>無効：タグVLANを使用しません。（初期値）
有効：タグVLANを使用します。</td></tr>
<tr><td>タグ挿入削除設定</td><td>出力ポートでタグ挿入削除をするかどうか指定します。
なし：操作しません。（初期値）
削除：タグを削除します。
挿入：タグを挿入します。
挿入するタグの詳細値は以下の通りです。
<table>
<tr><td>VLAN-ID値</td><td>入力ポートのデフォルトVLANID値による。</td></tr>
<tr><td>CoS値[2:1]</td><td>優先制御設定により格納された出力ポートでのキューレベル</td></tr>
<tr><td>CoS値[0]</td><td>入力ポートの設定による。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>デフォルトVLANID</td><td>デフォルトVLANIDを指定してください。
タグなしまたはVLANID=0のパケットが来た場合に、この値で振り分けを行います。また、出力ポートでタグ挿入する際のVLANID値としても使用されます。
指定範囲：0～4094</td></tr>
<tr><td>挿入タグののCoS値下位1bit</td><td>挿入するタグのCoS値[0]を1／0から指定してください。</td></tr>
<tr><td>VLANID</td><td>VLANIDを指定してください。指定範囲：1～4094</td></tr>
<tr><td>チェックボックス</td><td>VLANID のメンバポートを同じ行にチェックしてください。</td></tr>
</table>

※最大8グループまで設定可能です。
※全てのポートをタグVLANに設定すると、本商品にアクセスできなくなりますので、ご注意ください。

優先制御設定

TOPページ
IP設定
ポート設定
給電設定
同期設定
モニタ設定
ポートVLAN設定
タグVLAN設定
優先制御設定
その他

再起動

優先制御設定

優先制御の設定を行ないます。

方式 ◉常に上位優先 ○1:2:4:8

ポートプライオリティ 有効 詳細設定

CoSプライオリティ(IEEE802.1p) 無効 詳細設定

ToSプライオリティ(DSCP) 無効 詳細設定

設定 元に戻す

■ 設定値

方法	常に上位優先：常に高優先に設定したパケットから送出します。（初期値） 1：2：4：8：最低：低：高：最高のキューに積まれたパケットを1：2：4：8の割合で送出します。
ポートプライオリティ	無効：ポートプライオリティを使用しません。（初期値） 有効：ポートプライオリティを使用します。
CoSプライオリティ	無効：CoSプライオリティを使用しません。（初期値） 有効：CoSプライオリティを使用します。
ToSプライオリティ	無効：ToSプライオリティを使用しません。（初期値） 有効：ToSプライオリティを使用します。

※優先度3種を同時に含んだフレームは以下の優先度設定により処理されます。

CoS　＞　ToS　＞　ポートプライオリティ

データ設定画面

優先制御設定1

■ 設定値

優先度	最低／低／高（初期値）／最高から選択します。

優先制御設定2

■ 設定値

優先度	最低／低／高（初期値）／最高から選択します。

優先制御設定3

TOPページ
IP設定
ポート設定
給電設定
同期設定
モニタ設定
ポートVLAN設定
タグVLAN設定
優先制御設定
その他

再起動

優先制御設定3

ToSプライオリティ(DSCP)の設定を行ないます。

IPV4 TOS/Diffserv または IPV6 TC の6ビットの各値毎に設定が可能です。
本画面では10進数表示で記載されています。

優先度

0	1	2	3	4	5	6	7
最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低
8	9	10	11	12	13	14	15
最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低
16	17	18	19	20	21	22	23
低	低	低	低	低	低	低	低
24	25	26	27	28	29	30	31
低	低	低	低	低	低	低	低
32	33	34	35	36	37	38	39
高	高	高	高	高	高	高	高
40	41	42	43	44	45	46	47
高	高	高	高	高	高	高	高
48	49	50	51	52	53	54	55
最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高
56	57	58	59	60	61	62	63
最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高

設定 元に戻す

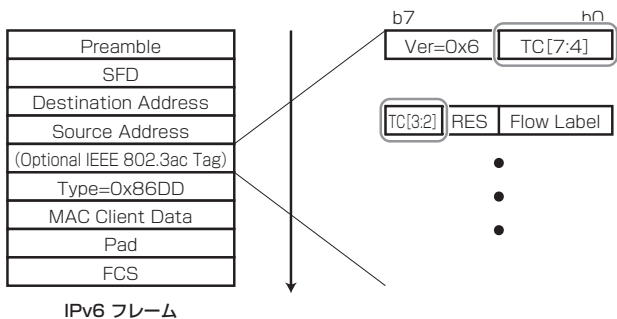
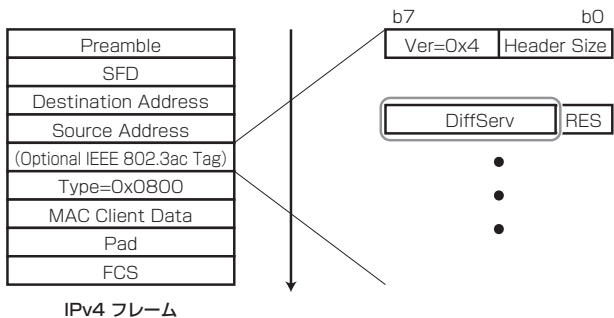
■ 設定値

優先度	最低／低／高（初期値）／最高から選択します。

IPV4 ToS/Diffser または IPV6 TC の6ビットの各値毎に設定が可能です。
下位2ビットは00固定で8ビットの16進数表示で記載されています。

IPv4 フレーム

IPv6 フレーム

データ設定画面

その他

TOPページ
IP設定
ポート設定
給電設定
同期設定
モニタ設定
ポートVLAN設定
タグVLAN設定
優先制御設定
その他

再起動

その他

ユーザー名・パスワードの設定、設定情報の書込みまたは読出し、ログ情報の読出しまたは初期化を行ないます。

ユーザー名 hosyu

パスワード

設定 元に戻す

設定データ書込みを行った後は、必ず「再起動」を行ってください。

書込みファイル 参照...

書込み 設定データを書き込みます。

読出し 設定データを読出します。

ログ ログ情報を読出します。

初期化 設定データを初期化します。

■ 設定値および操作

項目	内容
ユーザー名・パスワードの設定	ユーザー名・パスワードを変更します。 ユーザー名：hosyu（初期値） パスワード：なし（初期値）
設定データ書込み	パソコンに保存していた設定データを書き込みます。
設定データ読出し	設定データをパソコンへ保存します。
ログ読出し	ログデータをパソコンへ保存します。 ログデータの解析は専門の作業者にお任せください。
初期化	設定データを工場出荷状態へ戻します。

※設定データをパソコンに保存するときに、ユーザー名およびパスワードは保存されません。
※読出しまたはログ読出しを行う際、“開く”で表示できない場合は、一旦“保存”でパソコンに保存してから確認してください。
※ログの保存件数は最大240件、保存時刻は電源ONからの経過時間です。
※初期化を行うとIPアドレスは“IPなし”に戻ります。

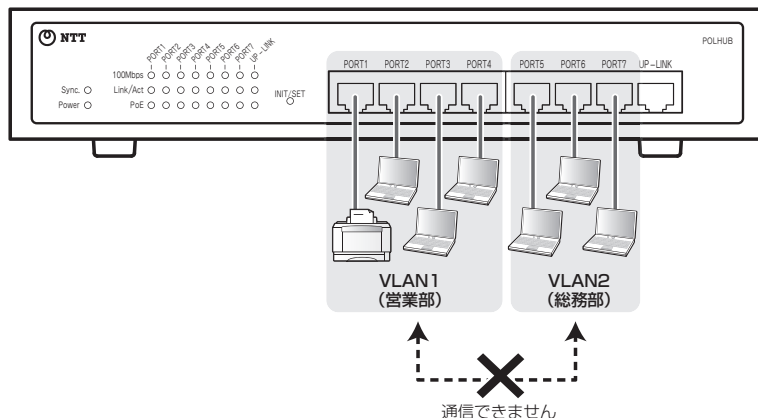
ネットワーク構成例

例１．ポート VLAN

ポートVLANは、LANを仮想的に分割して、不正アクセスを防止したり、ネットワークトラフィック軽減のために使われます。
この例では、ポートVLAN を利用して、VLAN を営業部用と総務部用に分割する設定方法を説明します。なお、この場合、営業部と総務部の間で通信できなくなります。

■ 設定の概要

- 本商品を1台使用する
- VLANを2グループ作成する
  VLAN1：ポート1 ～４　………　営業部
  VLAN2：ポート5 ～７　………　総務部

本商品

ネットワーク構成例

■ 設定のしかた

1 機器を準備する

1 本商品とパソコンをLANケーブルで接続して、それぞれの電源をONにします。

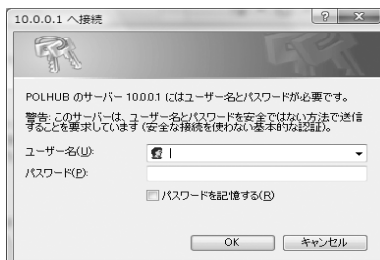
2 本商品にログインする

1 Webブラウザを起動し、アドレスの欄に本商品のIPアドレスを入力します。

INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが8個同時点滅するまで（約5秒）押し続けた時、本商品のIPアドレスは「10.0.0.1」に設定されています。

2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力し､[OK] ボタンをクリックます。

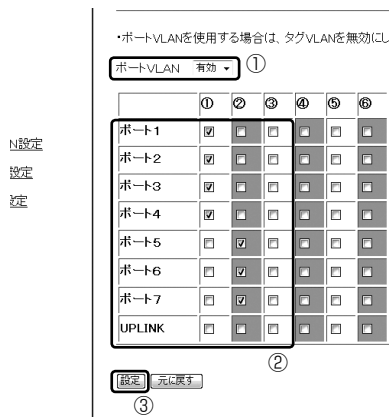
お買い求め時のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー名：hosyu
パスワード：なし（空欄のまま）

3 VLANを作成する

P.37の接続図の通りにVLANを作成します。

1 画面左側のメニューで［ポートVLAN設定］をクリックします。

2 「ポートVLAN設定」画面が表示されたら、以下の操作を行います。

①ポートVLANを「有効」に設定する。
②各ポートのチェックボックスを下図のように設定する。
③「設定」ボタンを押す。

お知らせ

●同じ列にチェックを入れたポートのグループで一つのVLANが作成されます。

再起動をする

1 本商品再起動します。

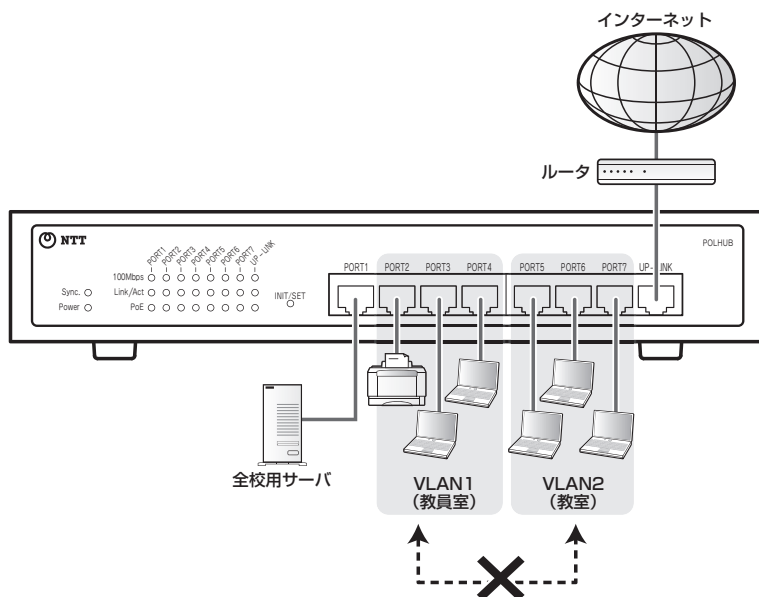
例 2. マルチプル VLAN

マルチプルVLANは、任意のポートを複数のVLANに属させることにより、セキュリティを保ちながら、ネットワーク設計の柔軟性を向上させたVLAN機能です。

この例では、マルチプルVLAN を利用して、教員室が属するVLAN と生徒用の教室が属するVLANに分割し、ルータやサーバを接続するポートをマルチプルポートにする設定方法を説明します。

この場合、教員室からも教室からもインターネットや全校用のサーバにアクセスできますが、教員室と教室の間では通信できません。

■ 設定の概要

- 本商品を1台使用する
- VLANを2グループ作成する
  VLAN1：ポート2 ～ 4 ……… 教員用
  VLAN2：ポート5 ～ 7 ……… 生徒用
- ポート1およびUPLINKはVLAN1とVLAN2で共用する

ネットワーク構成例

■ 設定のしかた

1 機器を準備する

1 本商品とパソコンをLANケーブルで接続して、それぞれの電源をONにします。

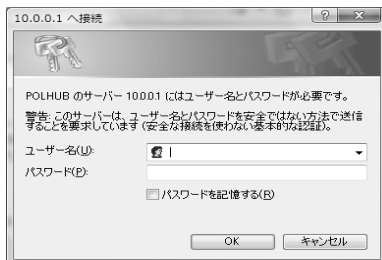
2 本商品にログインする

1 Webブラウザを起動し、アドレスの欄に本商品のIPアドレスを入力します。

INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが8個同時点滅するまで（約5秒）押し続けた時、本商品のIPアドレスは「10.0.0.1」に設定されています。

2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックます。

お買い求め時のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー名：hosyu
パスワード：なし（空欄のまま）

3 VLANを作成する

P.39の接続図の通りにVLANを作成します。

1 画面左側のメニューで［ポートVLAN設定］をクリックします。

2 「ポートVLAN設定」画面が表示されたら、以下の操作を行います。

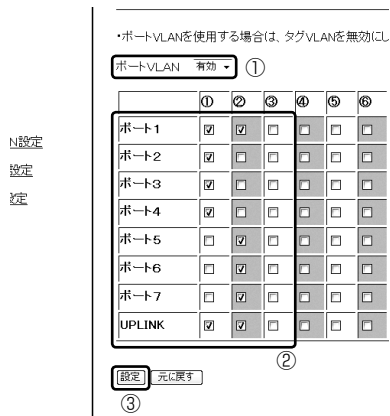
①ポートVLANを「有効」に設定する。
②各ポートのチェックボックスを下図のように設定する。
③「設定」ボタンを押す。

・ポートVLANを使用する場合は、タグVLANを無効にし

ポートVLAN 有効 ①

	①	②	③	④	⑤	⑥
ポート1	☑	☑	☐	☐	☐	☐
ポート2	☑	☐	☐	☐	☐	☐
ポート3	☑	☐	☐	☐	☐	☐
ポート4	☑	☐	☐	☐	☐	☐
ポート5	☐	☑	☐	☐	☐	☐
ポート6	☐	☑	☐	☐	☐	☐
ポート7	☐	☑	☐	☐	☐	☐
UPLINK	☑	☑	☐	☐	☐	☐

②

設定 元に戻す
③

お知らせ

●同じ列にチェックを入れたポートのグループで一つのVLANが作成されます。

●複数の列にチェックを入れたポートは、複数のグループで共有されます。

4 再起動をする

1 本商品再起動します。

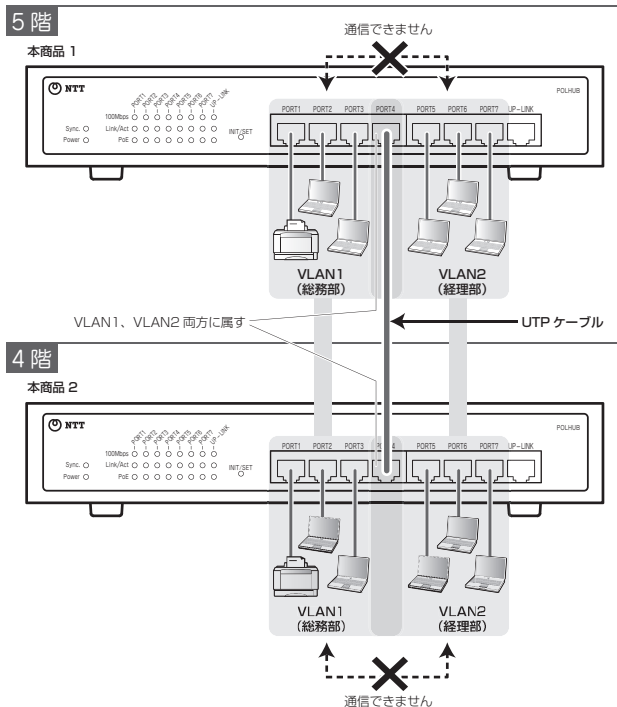
例 3．タグ VLAN

タグVLANでは、複数のスイッチをまたがったVLANを構築できます。

この例では、タグVLAN を利用して、本商品2台をUTPケーブル1本で接続し、異なるフロア間で同じVLANを利用できるようにしています。

この場合は､総務部と経理部の間では通信できませんが､フロアが異なっていても同じVLAN グループ（総務部どうし、経理部どうし）は通信できます。

■ 設定の概要

- 本商品を2台使用する
- VLANを2グループ作成する（2台とも）
  VLAN1：ポート1 ～ 3　………　総務部
  VLAN2：ポート5 ～ 7　………　経理部
  VLAN3：ポート4　………　本商品どうしの接続用

ネットワーク構成例

■ 設定のしかた

1 機器を準備する

1 本商品とパソコンをLANケーブルで接続して、それぞれの電源をONにします。

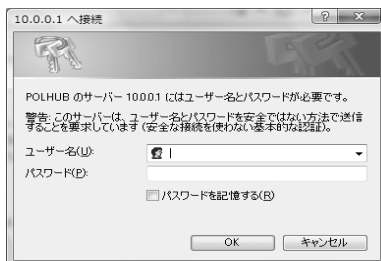
2 本商品にログインする

1 Webブラウザを起動し、アドレスの欄に本商品のIPアドレスを入力します。

INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが8個同時点滅するまで（約5秒）押し続けた時、本商品のIPアドレスは「10.0.0.1」に設定されています。

2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力し､[OK] ボタンをクリックます。

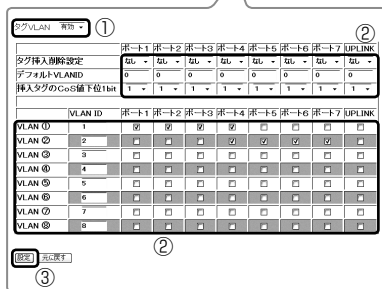
お買い求め時のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー名：hosyu
パスワード：なし（空欄のまま）

3 VLANを作成する

P.41の接続図の通りにVLANを作成します。

1 画面左側のメニューで［タグVLAN設定］をクリックします。

2 「タグVLAN設定」画面が表示されたら、以下の操作を行います。

①タグVLANを「有効」に設定する。
②各ポートの設定項目を下図のように設定する。
③「設定」ボタンを押す。

お知らせ

●もう一台の本商品との接続に使用するポートに対して、それぞれのVLANグループでチェックを入れることで、タグVLANが設定されます。

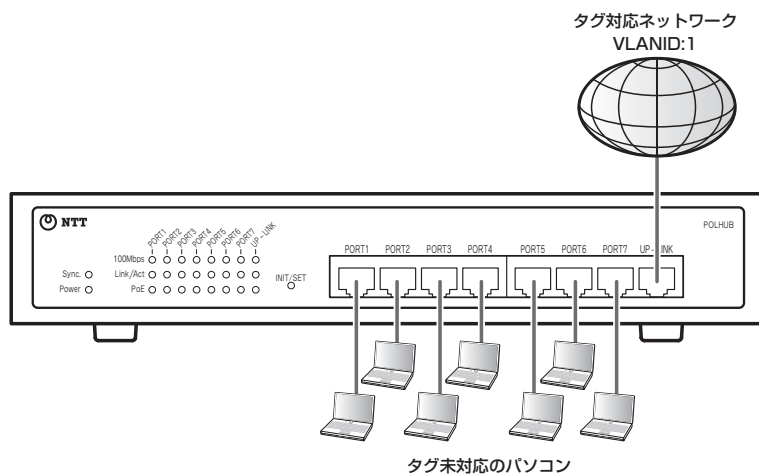
再起動をする

1 本商品再起動します。

例４．タグ対応ネットワークにタグ未対応機器を接続

本商品を使用すると、タグに対応したネットワークへタグ未対応機器を接続することができます。
この例では、タグ挿入削除機能を使用して、タグに対応ネットワークへタグ未対応のパソコンを
接続する場合の設定方法を説明します。

■ 設定の概要

- 本商品を1台使用する
- タグ未対応機器接続ポートを設定する　ポート1 ～ 7
  タグ挿入削除設定：削除
  デフォルトVLANID：1
- タグ対応ネットワーク用ポートを設定する UPLINK
  タグ挿入削除設定：挿入

ネットワーク構成例

■ 設定のしかた

1 機器を準備する

1 本商品とパソコンをLANケーブルで接続して、それぞれの電源をONにします。

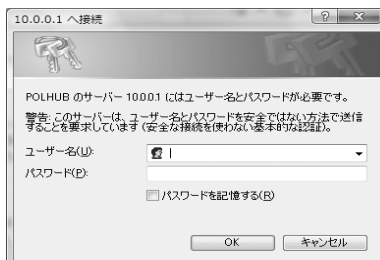
2 本商品にログインする

1 Webブラウザを起動し、アドレスの欄に本商品のIPアドレスを入力します。

INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが8個同時点滅するまで（約5秒）押し続けた時、本商品のIPアドレスは「10.0.0.1」に設定されています。

2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックます。

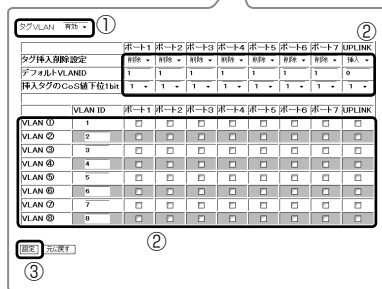
お買い求め時のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー名：hosyu
パスワード：なし（空欄のまま）

3 VLANを作成する

P.43の接続図の通りにVLANを作成します。

1 画面左側のメニューで［タグVLAN設定］をクリックします。

2 「タグVLAN設定」画面が表示されたら、以下の操作を行います。

①タグVLANを「有効」に設定する。
②各ポートの設定項目を下図のように設定する。
③「設定」ボタンを押す。

お知らせ

●タグ未対応のポートは削除、タグ対応のポートは挿入にすることで、タグ未対応機器をタグ対応ネットワークへ接続することが可能です。

再起動をする

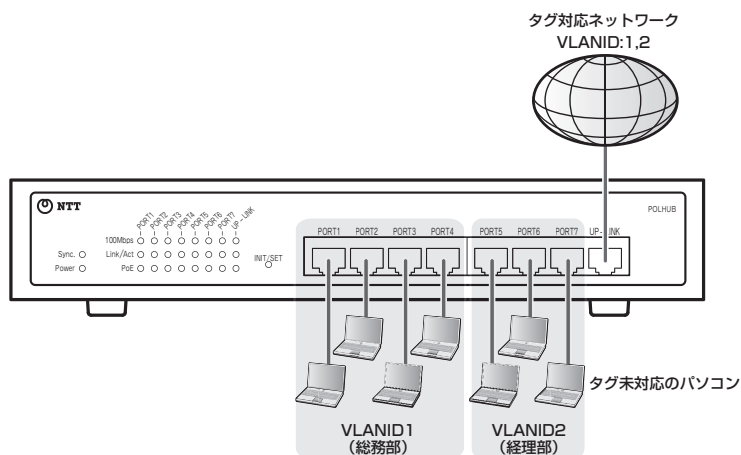
1 本商品再起動します。

例 5．タグありタグなし混在下におけるタグ VLAN

タグに対応したネットワークへタグ未対応機器を接続する際に、タグVLANを使用してネットワークを切り分けすることが可能です。

この例では、タグ未対応のパソコンを使用していますが、タグVLANにより総務部と経理部で通信できません。

■ 設定の概要

- 本商品を1台使用する
- VLANを2グループ作成する
  VLAN1：ポート1 ～ 4　………　総務部
  VLAN2：ポート5 ～ 7　………　経理部
  UPLINK　………　ネットワーク
- タグ未対応機器接続ポートを設定する　ポート1 ～ 4
  タグ挿入削除設定：削除
  デフォルトVLANID：1
- タグ未対応機器接続ポートを設定する　ポート5 ～ 7
  タグ挿入削除設定：削除
  デフォルトVLANID：2
- タグ未対応機器接続ポートを設定する　ポートUPLINK
  タグ挿入削除設定：挿入

ネットワーク構成例

■ 設定のしかた

1 機器を準備する

1 本商品とパソコンをLANケーブルで接続して、それぞれの電源をONにします。

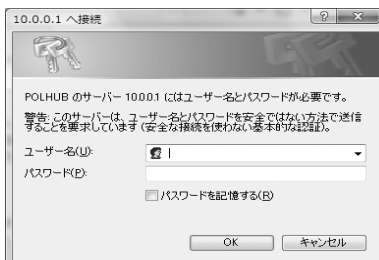
2 本商品にログインする

1 Webブラウザを起動し、アドレスの欄に本商品のIPアドレスを入力します。

INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが8個同時点滅するまで（約5秒）押し続けた時、本商品のIPアドレスは「10.0.0.1」に設定されています。

2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックます。

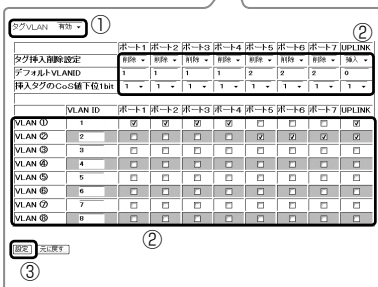
お買い求め時のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー名：hosyu
パスワード：なし（空欄のまま）

3 VLANを作成する

P.45の接続図の通りにVLANを作成します。

1 画面左側のメニューで［タグVLAN設定］をクリックします。

2 「タグVLAN設定」画面が表示されたら、以下の操作を行います。

①タグVLANを「有効」に設定する。
②各ポートの設定項目を下図のように設定する。
③「設定」ボタンを押す。

お知らせ

●タグVLANを設定することにより、タグ内のVLANIDで振り分けすることが可能です。

4 再起動をする

1 本商品再起動します。

例 6．優先制御設定 ポートプライオリティ

ポートプライオリティは、優先順位を高く設定したポートのパケットを優先的に送る機能です。

この例では、ポートプライオリティを利用して、電話機の音声パケットを優先で送る場合の設定方法を説明します。

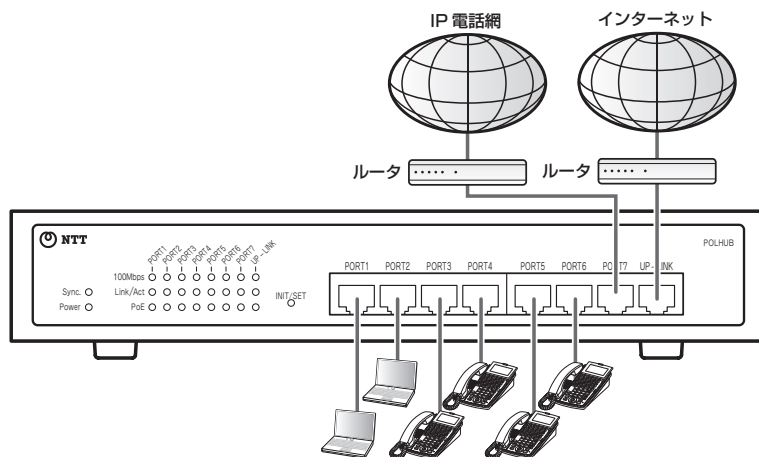
■ 設定の概要

- 本商品を1台使用する
- ポートプライオリティを設定する

  ポート6：高　……………IP電話網

  ポート3 ～ 7：高　………電話

  UPLINK：低　……………インターネット

  ポート1 ～ 2：低　………パソコン

ネットワーク構成例

■ 設定のしかた

1 機器を準備する

1 本商品とパソコンをLANケーブルで接続して、それぞれの電源をONにします。

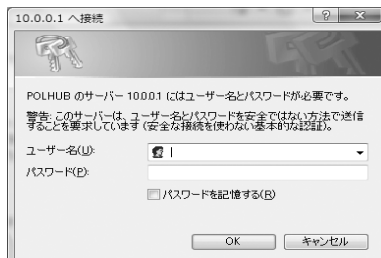
2 本商品にログインする

1 Webブラウザを起動し、アドレスの欄に本商品のIPアドレスを入力します。

INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが8個同時点滅するまで（約5秒）押し続けた時、本商品のIPアドレスは「10.0.0.1」に設定されています。

2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力し､[OK] ボタンをクリックます。

お買い求め時のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー名：hosyu
パスワード：なし（空欄のまま）

3 優先制御を設定する

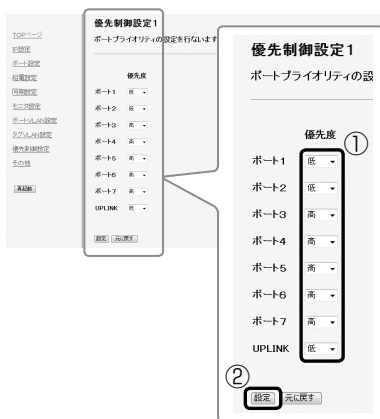
P.47の接続図の通りに優先制御を設定します。

1 画面左側のメニューで［優先制御設定］をクリックします。

2 「優先制御設定画面」が表示されたら、以下の操作を行います。

①ポートプライオリティを「有効」に設定する。
②「設定」ボタンを押す。
③「詳細設定」をクリックする。

3 「優先制御設定1」画面が表示されたら、以下の操作を行います。

①ポートプライオリティの設定を行う。
②「設定」ボタンを押す。

お知らせ

●優先度を高く設定したポートからのパケットを優先的に送出します。

4 再起動をする

1 本商品再起動します。

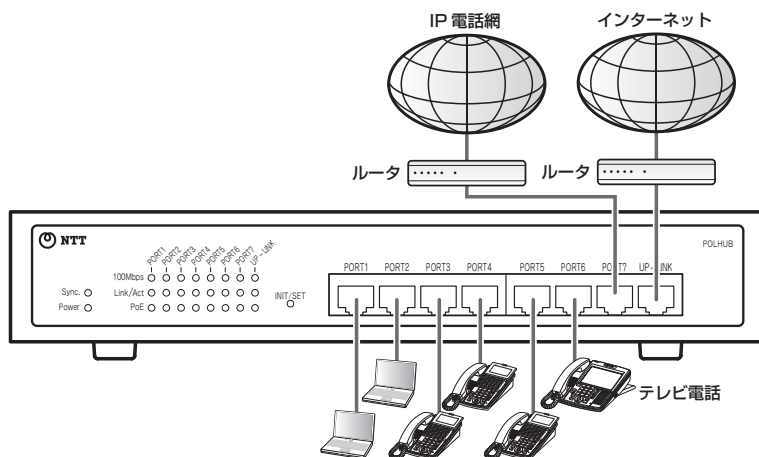
例 7. 優先制御設定 CoS プライオリティ

CoSプライオリティは、タグのCoS値により優先順位を変えて送る機能です。

この例では、CoSプライオリティを利用して、呼制御、電話、映像、パソコンの順に優先的にパケットを送信し、発着信の遅延・音声途切れを防ぎます。

■ 設定の概要

- 本商品を1台使用する
- CoSプライオリティを設定する

  CoS値6：最高　………　呼制御
  CoS値4：　高　………　電話
  CoS値2：　低　………　映像
  CoS値0：最低　………　パソコン

ネットワーク構成例

■ 設定のしかた

1 機器を準備する

1 本商品とパソコンをLANケーブルで接続して、それぞれの電源をONにします。

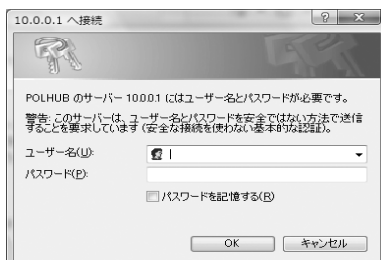
2 本商品にログインする

1 Webブラウザを起動し、アドレスの欄に本商品のIPアドレスを入力します。

INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが8個同時点滅するまで（約5秒）押し続けた時、本商品のIPアドレスは「10.0.0.1」に設定されています。

2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックます。

お買い求め時のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー名：hosyu
パスワード：なし（空欄のまま）

3 優先制御を設定する

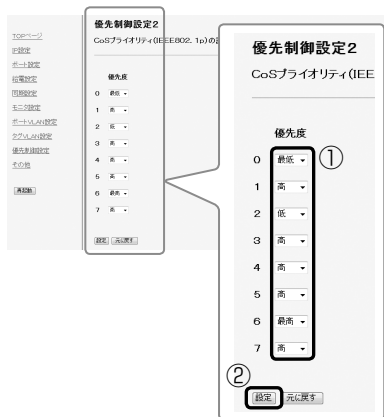
P.49の接続図の通りに優先制御を設定します。

1 画面左側のメニューで［優先制御設定］をクリックします。

2 「優先制御設定画面」が表示されたら、以下の操作を行います。

①CoSプライオリティを「有効」に設定する。
②「設定」ボタンを押す。
③「詳細設定」をクリックする。

3 「優先制御設定2」画面が表示されたら、以下の操作を行います。

①CoSプライオリティの設定を行う。
②「設定」ボタンを押す。

お知らせ

●優先度を高く設定したCoS値のパケットを優先的に送出します。

4 再起動をする

1 本商品再起動します。

故障かな？と思ったときは／仕様

■ 故障かな？と思ったときは

本商品が正しく動作しない場合は次のことを確認してください。

Powerランプが点灯していますか

・ Powerランプが点灯していない場合は、ACケーブルが断線していないか、ACケーブルが正しく接続されているか確認をしてください。

Link/Actランプは点灯または点滅していますか

・ Link/Actは接続された機器が正しく接続されているときに点灯または点滅します。
消灯している場合は次のことを確認してください。
UTPケーブルが断線していないか、また、ケーブルが100 mを超えていないか確認をしてください。

PoE対応端末の電源が入らない

・ PoEランプが点灯していますか。点灯していない場合は、WEB設定の給電設定を確認してください。

全ポートが給電しなくなった

・ ACケーブルが抜けていませんか。または、通風孔を塞いで本商品が熱くなっていませんか。
本商品の温度が上昇すると自動で給電が停止されます。

仕様

■ 仕様

項　　目		仕　　様
LANインタフェース	物理インタフェース	IEEE802.3（10BASE-T） IEEE802.3u（100BASE-TX）
	スイッチングHUB	8ポート
	伝送速度	10／100Mbps自動認識
	最大伝送距離	100m
	接続コネクタ	RJ45（8ピンモジュラジャック）
	その他	オートネゴシエーション／オートクロスオーバーコネクト
Power over Ethernet		−48V給電
寸法		約 255（幅）×約 200 （奥行き）×約 44（高さ）mm（突起部分を除く）
重量		約1.7Kg
電源		AC100V±10V　50／60H z
消費電力		最大約85W
使用環境	動作温湿度	5〜35℃、45〜80%（結露のないこと）
	冷却条件	自然冷却
	設置環境	国内、一般家庭、一般事務
	運転条件	連続運転
VCCI		クラスB

保守サービスのご案内

■ 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理します。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

■ 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要となります。

■ 故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

■ その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

● NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： フリーアクセス 0120-970413
※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間　9：00～21：00

※年末年始12月29日～ 1月3日は休業とさせていただきます。

● NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： フリーダイヤル 0120-248995

受付時間　9：00～21：00

※年末年始12月29日～ 1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

■ 補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間　9：00 ～ 21：00
※年末年始 12 月 29 日～ 1 月 3 日は休業とさせていただきます。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-248995

受付時間　9：00 ～ 21：00
※年末年始 12 月 29 日～ 1 月 3 日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

環境を考えて大豆インクを使用しています

本 3000-2（2008.11）
NX-POLHUB トリセツ -〈1〉
4379060000 H02